

# ギネス世界記録に認定！

こちらミシガンでは、11月28日の収穫祭(サンクス ギビング デイ)以降、街中あちこちがきらびやかに飾りつけされ、本格的なクリスマスの雰囲気になっています。

そんな中、守山市の姉妹都市であるエイドリアン市でクリスマスに関連するギネス世界新記録が認定されました。

エイドリアン市が挑戦した記録は、「The most cut and lighted Christmas trees in one location (一つの場所で、ライトアップされたクリスマスツリーの数)」。これまではマンハッタンのHerald Squareが559本の記録をもっていましたが、2019年12月6日(金)にエイドリアン市のComstock Parkに設置された676本のクリスマスツリーがライトアップされたことから、ギネス記録認定員の立ち合いのもと記録が更新されました。



エイドリアン市では6年前からComstock Parkにライトアップされたクリスマスツリーを飾り、パレードなどを行うクリスマスイベントを開催。地元企業や教会、コミュニティ、個人などがクリスマスツリーを購入し、Comstock Parkに飾ってきました。最初の年に飾られたクリスマスツリーは34本。年々、協力者も増え、去年は247本にまで増えていました。

今回ギネス世界記録挑戦の発起人であるジム・ベリーマンさん(前エイドリアン市長)は、今年の6月にたまたまクリスマスの映画を見ていて、このアイデアを思い付いたんだそうです。すぐにエイドリアン市役所にアイデアを共有。Old National Bankに市役所のパートナーとしての活動を依頼し、ギネス世界記録認定に向けての活動が始まったとのこと。

新記録が認定された際にベリーマンさんは、「今回飾られたクリスマスツリーは676本。その1本1本に、それぞれストーリーや願いが込められている。みんなで挑戦し、みんなで達成した。エイドリアン市はやり遂げた！この素晴らしいイベントに携わったことを誇りに思っしてほしい！メリークリスマス！！」とセシモニーの壇上から、集まった数百人の参加者らに語りかけられました。

この記録認定の直前には、守山市長から記録認定成就を祈念する手紙がベリーマンさんのもとに届いていました。実は、守山市も「最も多くのメッセージが飾られた展示物」というギネス世界記録に挑戦していたのです(12月8日(日)に見事認定！)。今年、8月にベリーマンさんがミシガン州友好親善使節団として守山市を訪問した際にも、ギネス記録挑戦に向けてお互いに成就できるよう頑張ろうと話をしていたとのこと。エイドリアン市の記録認定から数日後、守山市の記録認定の一報を聞き「両市ともに記録が認定されてほっとしている。エイドリアン市だけできなかつたらどんな言い訳をしよう

かと考えていた（笑）。2019年に姉妹都市提携30周年を迎えた守山市とエイドリアン市の友好交流の歴史に両市がそろってギネス世界記録認定という花を添えることができるとても嬉しい。」とベリーマンさん。10,000km以上離れた姉妹都市で同じ時期にギネス世界記録が達成されるというニュースは、エイドリアン市と守山市の方々にとって素敵なクリスマスプレゼントになったのではないのでしょうか。

NBC24 News, Adrian sets world record with 676 Christmas trees lit up at Comstock Park  
<https://nbc24.com/news/local/adrian-sets-world-record-with-676-christmas-trees-lit-up-at-comstock-park>

毎日新聞, 5万枚の願いきらめくクリスマスツリー メッセージカード数でギネス世界記録達成 滋賀守山  
<https://mainichi.jp/articles/20191209/k00/00m/040/236000c>



挑戦経緯を語るベリーマンさん  
(ギネス世界記録認定セレモニーにて)



記念すべき瞬間に立ち会おうと多くの人で  
込み合う会場



光の中を歩いているような幻想的な空間



676本のツリーで飾られたリバーサイド